

## 第 728 回 例 会

29年7月21日

## 本日のプログラム

- ・夜例会（直前会長・幹事 慰労会）
- 時間 18:30～
- 場所 中国菜エスサワダ  
（北区西天満4-6-28 ニュー真砂ビル1F）

## 次回（7月28日）のプログラム

- ・ソング 「それこそロータリー」
- ・卓話 佐田 幸夫 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 先週（7月14日）の例会報告

## ■会長の時間

〔今年度テーマロゴについて〕

国際ロータリーのテーマ旗はいつも例会場に掲げられていますが、今年度のテーマロゴをご覧になりましたか？

このデザインは多様性を表しています。つまり違った背景を持つ、すべての人種・民族の人達に変化をもたらすために、ロータリーという名の下に集結する、という意味です。

私達一人ひとりが高みを目指し、ロータリーを通じて世界でさらによいことを行うよう努力することも表現しています。120万人の仲間と一緒になれば、地元や海外の地域社会で変化をもたらすために貢献できます。

デザインにある円形はロータリーが地球上のほぼ全ての地域に存在し、息つく間もないほどに積極的に活動していることを表しています。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

29年7月14日（第727回例会）				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	1名	21名	13名	61.76%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

- 1) 第1回理事会報告
- 2) 地区大会のご案内・登録申込書(11/10・11)
- 3) 第2660地区 例会日一覧表
- 4) ガバナー月信(7月号)冊子版(差替え書類) ……理事、役員に配布

〔メール送信〕

- 1) 大輪ゴルフ会のご案内 ⇒ 7/13 配信（8/25締め切り）

〔回覧資料〕

- 1) 血液センターニュース(2017夏)
- 2) 大阪交通災害遺族会「パンジーだより」
- 3) 2016-17年度 秋のライラ報告書
- 4) 他クラブより例会変更のお知らせ(先週分20+3クラブ)

## ニコニコ箱（7月14日）

池山 博文 =先週は西アメリカのシアトル、ポートランド、カナダのバンクーバーに行ってきました。まちづくりの視察でしたが、大変勉強になりました。

川上 大雄 =新年度始まりましたね。よろしくお願ひします。

森本 良嗣 =今日はお忙しい処を村上様、ゲストスピーカーとしてお越し下さり、ありがとうございます。拝聴させていただきます。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 3000円	今年度合計 3989473円
---------	-------	-----------	----------------

## 卓話（7月14日）

「もう一つのアジア 貧困の現場にて ー日本の役割を考えるー」 ゲストスピーカー 村上 公彦 氏（北谷 俊貴 会員ご紹介）

本日は、貴クラブ入会后、実質初めての卓話の当番となりました。

本来ですと、私自身が卓話を務めるのが本筋ではありますが、ロータリークラブ様同様に奉仕の精神で、誰もがどこで生まれようとも『生まれてきて良かった』と思える「貧困なき国際社会の実現」を目指して国内外で活動している国際ボランティア団体が大阪にありますので、その団体の創設者をゲストスピーカーとしてお招きしてお話をいただくことにしました。その団体とは、公益社団法人アジア協会アジア友の会で、略称はJAFS(ジャヤフス)といいます。JAFSは、1979年に日本基督教団寝屋川教会の牧師で村上公彦氏(現在 専務理事・事務局長)の呼びかけで、ライフラインが未整備なアジアの発展途上国に「命の水」を提供するために井戸を掘る運動として発足しました民間国際協力援助団体(NGO)です。

約40年前に村上氏がインド留学中に、住民が泥水を生活水として利用する光景を目の当たりにし、村上氏自身、腸チフスにかかり体を壊してしまいました。それで、「地域住民に安心して飲める水を提供したい」という思いに駆られ、井戸を掘ることを思いついたのが、本団体活動の発端であります。「井戸掘り」に始まり、現在、JAFSではアジア18ヶ国 69地域に現地提携団体を持ち、これらのネットワークを通じてアジアの貧困問題やさまざまな社会問題に取り組んでいます。主な活動内容としましては、水事業(井戸、飲料水供給)、こども事業、貧困対策事業、環境事業、国際交流事業、サイクルエイド事業、等です。2012年4月には内閣府から認可を受け「公益社団法人」となり、常時15名程のボランティア精神のある方が集まって事務局を運営し、精力的に活動されています。当活動の一つでありますフィリピンのパイプラインについては、以前に中学校の社会科教科書「公民」でとりあげられたこともあります。

本日は、そうしたJAFSの活動の一端をご紹介します『もう一つのアジア 貧困の現場にて -日本の役割を考える-』と題して、現在のインドやネパール、フィリピン等の国々の貧しい村を訪問し、現状をカメラに収めた数々の映像をお届けしながら、アジアの貧困について考える時間としたい。最近では、日本国内市場の活性化をもたらす一因となった、外国人観光客による「爆買い」。インバウンド市場の拡大で、日本市場が活況を呈する一方で、新興国を中心にアジア諸国では貧困の格差が益々増大しているのが現状である。学校に行きたくても行けない、ご飯を食べたくてもお金がなくて残飯を物乞いする子供たち、ゴミ集積所から利用できそうな物を探す姿、性の奴隷となり未成年にも蔓延するエイズ。そうした貧困社会の反動で、世界各地で暴動が起き、テロを誘発している現状を忘れてはなりません。本日の卓話を通じて、こうしたアジアの貧困社会を直視することで、私たちの日々の生活がいかに快適で恵まれているかを再認識していただくとともに、日本としてどういう役割を果たすべきか、そして一人の日本人として個々に何ができるかを自問自答するきっかけになれば幸いです。そして、当会の活動に共感する方々には当会活動にも参画していただき、国際ボランティア活動の根が広がりましたら理想であります。

なお、公益社団法人アジア協会アジア友の会について、詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://jafs.or.jp/about/> 「アジア協会」で検索可能。

#### <ゲストスピーカーのプロフィール>

村上 公彦(むらかみ きみひこ)氏

1941年生まれ。日本基督教団寝屋川教会牧師。同志社大学神学部大学院修士課程修了(神学修士)。

その後、インド・バンガロールU. T. カレッジ研究科、スイス・ジュネーブ大学エキュメニカル研究所留学。

帰国後、国際ボランティア組織“エポスクラブ(平和を作り出す人)”結成。1979年にNGO団体、アジア協会アジア友の会(JAFS)を設立。2004年には、タイ国立ランパーン ラジャパット大学より名誉学術博士号を授与される。

(文責 北谷 俊貴)

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか